



令和7年10月2日分校

チームたかたく・はくれい

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -分校 校長たより⑨-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～



上松 武

## ■やりたいことができることの幸せ ～9/27 学習発表会当日までの取組から～ (リハーサルまで)

- ・9月19日(金)、学習発表会のリハーサルがありました。みんなが見ている前で任されたセリフを言ったり、仲間とのタイミングを合わせたり、とにかく失敗しないようにと緊張している生徒の胸の内が手に取るように伝わってきました。
- ・これまでうまくいかなかった経験をたくさんしてきたり、そのために心無い注意を受けたり叱責されたりして、自分に自信が持てないのではないかと考えてしまいます。
- ・しかし、リハーサルで見せてくれた生徒たちの姿は、いつも以上に一生懸命でかっこよく、いつもより少し自信を持って発表していました。
- ・閉会の挨拶で生徒代表の3年生が述べた言葉が、とても強烈な印象を受けました。

わたしは今まで、他の高校が体育祭をしている様子を見て、正直なところ、うらやましく思っていました。ですが、この学習発表会の準備や練習を通して、みんなで協力し、団結して盛り上がることができ、他の高校に負けにくいぐらいの最高の思い出ができました。そして、たくさんの地域の皆様、保護者の皆さんに、それを伝えることができ、うれしく思います。

- ・生徒たちはこのような気持ちを抱きながら毎日学校生活を送っていたことにあらためて気付かされました。そして、「この学校に入学してきた生徒が、この学校でやりたいことを見つけ、一生懸命に打ち込み、その結果として今よりも自分に自信が持てること」を白嶺分校の学校経営の柱の1つに据えていこうと思います。

## (本番当日)

- ・リハーサル以上に緊張していた生徒たち。でも、その緊張感を味わうかのように、学習の成果発表会では、笑顔で、少し照れくさそうに、これまで学習してきたことを伝えてくれました。
- ・作業製品販売では、緊張感から開放されて、ご来場の方々に「お勧めの品」や「工夫した点」をアピールしたり、カゴを両手で手渡したり、一点ずつ正確に会計をしたり、袋のサイズを確かめながら優しく袋詰めしたりと、見ていて気持ちのいい対応があちらこちらで見られていました。
- ・まだまだ多くの可能性を秘めた生徒たちであり、誇らしく思いました。このように自分の力を発揮できたのも先生方の日頃からのきめ細やかな指導支援の賜物であり、あらためて感謝します。





- ・やりたいことがなかなか見つからない、見つかったとしてもできるとは限らない世の中ですが、本校在学中の3年間に「やりたいことが見つかった喜び」「やりたいことができた幸せ」を味わい、それを糧に卒業後の荒波を渡っていきけるような教育活動を、先生方全員で行っていきたく強く思いました。
- ・22名の生徒全員を、全職員で大きく成長させていきましょう！

## ■大人の階段をのぼろう ～後期校内実習・職場実習開始 10/20 から 11/14 まで～

- ・10月20日（月）から、後期の校内実習・職場実習が始まります。
- ・後期の実習では、1年生が初めて福祉事業所や企業で「仕事」を体験します。3年生は卒業後の生活設計に大きく関わってくる大切な実習となりますし、2年生は一年後の自分、そして卒業後の自分を見据えた実習となります。
- ・校内実習・職場実習は、今この時しか学ぶことができない「大人の階段をのぼる」学習だと生徒たちには伝えたいと思っています。そして、生徒全員には、こんな心持ちで実習に挑んでほしいと願っています。

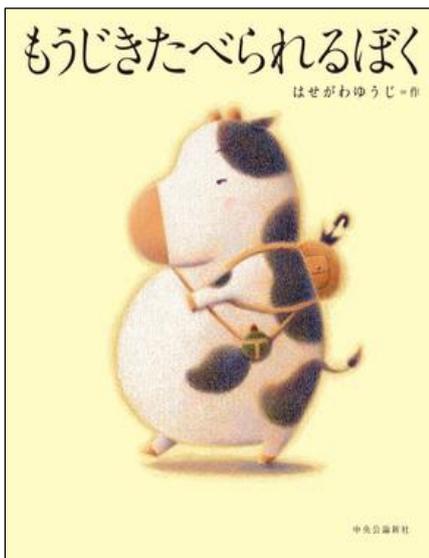
一生懸命に、かっこよく

いつも以上に、かっこよく 失敗しても、かっこよく

- ・本校在学中に、「大人への階段」を一段一段確実にのぼっていきけるよう22名の生徒を導いていきましょう！

## ■絵本の紹介

『もうじきたべられるぼく』 はせがわゆうじ 作



### 内容紹介

号泣必至。

ぼくはお母さんと会えるのか——

TikTok の読み聞かせ動画が300万回再生された泣ける話、待望の書籍化。

「たべられること」を受け入れたぼくが、さいごにしたかったこととは。食育にもおすすめの1冊です。

(絵本ナビホームページから引用)

「命」のことを考えさせられる絵本です。「ぼく」が最後の方で言うセリフが胸に刺さります。

せめて **ぼくを食べた人が 自分の命を大切にしてくれたらいいな**

自分のことを大事にしようよと子どもたちには言いたいです。そして、私たち大人が「あなたはかけがえのない、誰とも変わることでできない大切な存在なんだよ」と伝え続けなければいけないと強く思います。大切な自分、大切にされている自分という意識を持つことで、人生を何とか生きていきけるのではないのでしょうか。